



# うさぎぐみだより 12月号

尚徳福祉会 とちょう保育園



日中の風や空気が少しずつ冷たくなり、本格的な冬の訪れを感じる頃となりました。

子どもたちは寒さに負けず、落ち葉や木の実を手元に元気にお散歩を楽しんでいます。今年も残すところあと1か月、晴れやかな気持ちで新年を迎えられるように子どもたちと一緒に駆け抜けていきたいと思えます。



## うさぎぐみ エピソード1



「たーちたっ

「たーちたっち！たーちたっち！」これは、今うさぎぐみで流行っているゲームのひとつです。お部屋の中で行う時には「たっちたっち」の掛け声の後に、あたまやおなかなどの体の部位を伝えそこを触ってもらいます。座ったままでできるので小さなスペースでも楽しめます。お外遊びの時には、掛け声の後に保育士やお友だちの名前を呼びみんなでタッチをします。名前を呼ばれた保育士やお友だちはタッチされないように一生懸命走って逃げるので追いかけてこのように楽しめます!! お部屋でお外で、ぜひ遊んでみてください♪

## うさぎぐみ エピソード2



「ひっぱれ!がんばれ!!てつだっ

中央公園の芝生広場で遊んでいた時の出来事です…

1人のお友だちが土から出た長い木の根っこの一部を発見。一緒にいたお友だち2~3人で引っ張ってみました。しかし…抜けません。するとその様子を見た別のお友だちが駆け寄り一緒に引っ張ったり、ある男の子は離れた場所にいた保育士やお友だちに声を掛けて応援を呼びに走ってくれました。何人で引っ張ってもやはり抜けません。そのうちに「がんばれがんばれ!」と一生懸命応援してくれる子や「ここ掘るから待っててねー!」と周りに声を掛けて、引っ張られている根っこの根元の土を掘る子に分かれだしました。

この間に保育士が発したのは「なかなか抜けないね」「カブが埋まっているのかな?おいもかな?」「がんばれ!!」などの簡単な言葉です。みんな自分で考えて行動したり言葉を発したり、更にはお友だちと力を合わせてひとつの目標を達成しようとしていたのです。知らない間にこんなにも成長していたのかということ、しっかりと友だちを認識して、力を合わせようという空気が自然と流れ出したことにとっても感動しました。結果的に根っこは全く抜けず、1人2人と別の遊びに移っていましたが、この体験は子どもたちにも保育士にとっても貴重で素敵なものだったと感じました。

色々な言葉を覚えて遣えるようになり、思うように体を動かして遊べるようになり、お友だちとも心を通わせて過ごせるようになってきて嬉しい成長がたくさん見られています。その背景には、上手くいかずに悔しい思いをしたり言葉にならない気持ちをどう表わしたらいいのかと、子どもたちなりに葛藤することもたくさんあります。どんな思いもしっかり受け止めて、まっすぐ関わっていききたいと思っています。

